

■ グループ紹介

財団法人 大阪科学技術センター

当センターは、産・学・官の英知を結集した調査研究・技術開発等のシンクタンクの機能、政策提言機能、人材及び情報交流の場としての機能などを有しており、これらの機能をフルに発揮し、産業発展の基盤づくりに寄与することを目的として、産業界のニーズから生まれた各種事業を積極的に推進している。

事業内容を大別すると以下の通りとなる。

1. 総合企画活動

科学技術振興の政策提言、情報基盤整備事業、賛助会員対策等。

2. 普及広報事業

青少年をはじめ広く一般市民に対し、科学技術に関する正しい知識の普及と、科学技術が生活向上と社会発展にいかに関与しているかについての理解を深めることを目的に、大阪科学技術館を拠点とする展示活動をはじめ各種媒体を通しての広報活動及び、エネルギーに関する広報活動を展開している。

3. 技術開発事業

新素材、光技術、バイオテクノロジー等の先端技術や、環境技術分野、ヘルスケア分野、地震防災・安全対策分野等の社会・生活に関わる科学技術の研究開発等の分野について、産業・科学技術のポテンシャルの高揚を目指して、課題の探索とその具体的推進策を検討している。また、研究開発支援・普及啓蒙活動や、中堅・中小企業振興事業等を行っている。

4. 調査研究事業

地域開発、学術研究、情報通信、エネルギー技術問

題を中心とした諸課題について、産・学・官の連携を重視し、情報交流と調査研究を通じてその対応策の検討と課題解決に取り組み、また、これらの分野の情報集積を活かし、国及び自治体等からの委託調査にも応えている。

5. 情報処理振興事業

CIM化普及促進や製造システム技術・環境の研究促進、知能科学技術の研究促進、社会・生活システム開発等の分野において、情報技術の発展に対応したプロジェクトづくりを推進し、その成果を普及啓蒙している。また、研究交流の促進・支援活動も行っている。

6. ニューマテリアルセンター事業

金属系新素材の試験・評価方法の標準化、及び金属系新素材の利用促進をはかる全国センターとして、標準化、規格化に関する調査研究、国際標準化の推進、及びデータベースの構築を行うほか、金属系新素材の利用促進のためユーザー・メーカー交流の場を設置してニーズ・シーズのマッチングをはかる等の活動を行っている。

7. ビル利用促進活動

ビル諸施設の有効利用を図るため、ビル入居諸団体との連携や、一般諸団体に対する貸会場の利用促進と推進対策を積極的に推進している。

所在地：〒550 大阪市西区靱本町1-8-4

(文責：総務企画部副部長 杉本茂美)